allcinema

エゴン・シーレ／愛欲と陶酔の日々（1980）

EGON SCHIELE
EXCESS AND PUNISHMENT

メディア 映画
ジャンル ドラマ　伝記
製作国　オーストリア／西ドイツ
時間　94分
初公開日 1983/02/19
公開情報 大映インターナショナル

【解説】
１９世紀末のオーストリア耽美派画家のスキャンダラスな生きざまを、冷めたタッチでつづる暗澹たる映画。横溢する退廃ムードは、まさにシーレの画そのまま、といっても過言ではないだろう。愛人のモデルに扮するＪ・バーキンもまた、彼の絵から抜け出してきたかのごとし。年端もいかない少女のヌードを描いて事件となり、開き直るでもなく落ち込むばかりのシーレは、意外と常識的な人物に見える。実際、愛に飢えた彼にひたすら同情的な内容で、そこが不満だったりする。音楽はＢ・イーノ。

【クレジット】

監督	ヘルベルト・フェーゼリー	
脚本	ヘルベルト・フェーゼリー	
	レオ・ティシャット	Leo Tichat
撮影	ルドルフ・ブラチェック	Rudolf Blahacek
音楽	ブライアン・イーノ	Brian Eno
	アットン・ウォン・ウェーベルン	
	メンデルスゾーン	Mendelssohn
出演	マチュー・カリエール	Mathieu Carriere
	ジェーン・バーキン	Jane Birkin
	クリスティーネ・カウフマン	Christine Kaufmann

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.